

| | | | | |
|--------|---|-----------|-----------|----------------------|
| 学校教育目標 | 「健康で笑顔がすてきな子」 ○自分の生活の中から課題を見つけ、それを体験的・行動的に解決できるようにします。(知) ○互いのよさを認め合い、自分らしく生きようとする子どもの意欲を引き出します。(徳) ○生命の大切さに気付くとともに、自分も他者も大事にし、健康でたくましい体と心が育つようにします。(体) ○自分ができることを考え、主体的に地域社会にかかわっていけるようにします。(公) ○様々な人とのコミュニケーションをとoshi、国際社会への視野を広げるようにします。(開) | | | |
| | 創立 33 周年 | 学校長 柏原 奈保 | 副校長 藤井 健太 | 学期制 一般学級：12 個別支援学級：4 |
| 学校概要 | 児童生徒数： 389 人 主な関係校： 大道中学校 六浦中学校 | | | |

| | | |
|--------------------------|--|--|
| 教育課程全体で 育成を目指す資質・能力 | 大道中 ブロック | 小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組 |
| ○人の話を聴いて、考える力 令和5年度修正 | 大道中学校 大道小学校 高舟台小学校 朝比奈小学校 六浦南小学校 | 「自他の関係づくりを大切に子ども」の育成を目指してa5 ①「コミュニケーション能力の育成」をテーマとして設定し、各教科・領域においてテーマを意識した授業を展開する。②教務主任会や専任会などで得た情報を基に、「学習・生活スタンダード」の改善を進める。③学習指導、児童・生徒指導の情報共有をいねいにし、自己有用感を高める取り組みを進める。④「児童生徒交流日」と「別日程の小中の児童生徒の交流日」を積極的に活用する。 |

| | |
|--------|---|
| 中期取組目標 | ○基礎・基本の定着を図るとともに、体験的で実感的な活動を取り入れた、主体的かつ協働的な問題解決学習を充実させて学びの質的向上を図ります。 ○自他のよさを大切にしながら、豊かな人間関係を構築できる子どもの育成に向けて、安心・安全かつ健康を大切に心と身体の健康づくりを大切にします。 ○社会に開かれた教育課程のもと、家庭や地域と連携・協働しながら、次代に生きる子どもたちをともにはぐくむ教育活動の充実を目指します。 |
|--------|---|

| 重点取組分野 | | 具体的取組 |
|--------------------|---------------------|--|
| 知 | 確かな学力 | 本校の児童につけさせたい資質・能力を『人の話を聴いて、考える力』と設定し、自他の関係づくりを大切に子どもたちの育成のための授業研究を行う。また、昨年度までの研究を生かし、ICTの活用による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の追及を行い、主体的・対話的で深い学びを視点に授業改善を行う。 |
| 担当 | 教務 | |
| 徳 | 豊かな心 | ①道徳年間指導計画の内容に沿って資料を作成、保管、共有できるようにする。教育活動全体の中で、「誰もが」「安心して」「豊かに」生活できるように支援していく。②気になる子「Aさん」を中心に据えた授業づくりや職員研修を通して、職員の人権感覚を更に磨くことを目指す。人権週間の充実、いじめを許さない人権感覚の育成を図る。人の話を聴き受け止め考えることで、人間関係を豊かにする。 |
| 担当 | 人権教育 | |
| 体 | 健やかな体 | ①体育・保健学習の6年間の系統性を考えたり、校内で実技研修をしたりして、授業改善を図る。 ②保健委員会と運動委員会が連携し、健康維持と体力向上を図る。 ③給食の時間に食育指導を行い、食育を推進していく。 |
| 担当 | 体育 | |
| 公 開 | 自分づくり教育 (キャリア教育) | ①「自分づくりパスポート」を活用し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、子ども自身の変容や成長を自己評価できるようにする。②地域で体験的に学ぶ機会を積極的に設け、他者との関りの中で自分の思いを表現しながら、一人ひとりが自己有用感を高めるようにする。 |
| 担当 | 教務 | |
| いじめへの対応 | | ①いじめ防止対策委員会は、いじめの未然防止、早期発見、組織的な事案対応を積極的に行う。②教職員がいじめを疑いの段階で認知して迅速な組織的対応ができる研修を行うとともに、いじめ防止に向けて児童へいじめについてを具体的に伝える機会をもつ。③「子ども会議」を年間計画に位置付け、児童自ら人権感覚を高める取組を行えるようにする。 |
| 担当 | 児童支援 | |
| 人材育成・ 組織運営(働き方) | | ①重点研では、児童につけさせたい資質・能力をもとにブロック内で同じ視点で研究を進め、指導力の向上を図る ②働き方改革で仕事の精選・合理化を引き続き進める。③メンター研等も活用し、経験の浅い先生を職員全体で支える。また、中堅・主幹教諭などステージに応じた参画力を身につける。 |
| 担当 | 教務 | |
| 特別支援 | | ①児童一人ひとりのニーズに応じた 個別の教育支援計画・指導計画を作成し、適切な指導・支援に取り組む。 ②全校児童の状況を把握し、教職員の共通理解のもと、外部関係機関との連絡も密にして、実態に応じた適切な支援を行う。 |
| 担当 | 特別支援 | |
| 児童指導 | | 六浦南小学校のスタンダードの内容と意味を各学年徹底するとともに児童の実態に合ったルール作りをする。学年チーム、学校チームを意識して普段から様々な学年に様々な教師が関わるというスタンスで児童指導に当たる。ルールの徹底や危険の察知、子どものSOSに迅速に対応できるようにする。 |
| 担当 | 児童指導 | |
| a14 | | b9 |
| 担当 | | |
| a15 | | b10 |
| 担当 | | |